

ポム・ド・パン

第7号

■知的障害者更生施設ウインドヒル 香川県高松市三谷町3851番地
TEL050(3734)6707 TEL087(888)4277 FAX 087(888)4278

■社会福祉法人 ポム・ド・パン発行
■発行日2011年11月30日

3B体操協会設立
40周年記念
香川大会に参加

毎月お世話に
なっています。
鎌田先生です。



3B体操

ステージに立って
上手に体を動かす
利用者さん達です。



平成23年10月16日、社団法人日本3B体操協会設立40周年記念香川大会に参加しました。ウインドヒルでは平成21年4月より毎月1回、鎌田先生にお越し頂き、療育の一環として取り組んできました。当初はなかなか参加できない利用者がいたり、参加していても動きがみなバラバラだったりしましたが、今では上手に体を動かすことが出来るようになりました。

3.11以降、日本は大きく変わりました。

未曾有の地震・津波災害そして原発事故と。悲しいことが続きましたが『がんばれ！日本』前に向かって歩いて行きましょう。個人の力は小さくとも、みんなの力が結集すれば素晴らしい明日が開けます。ウインドヒルの歴史も平成16年12月から歩み始め、8年目に入ります。昨今、障害者福祉を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。どんな変遷があろうとも、「自閉症」という重篤な障害と共に、生きにくい人生を送っているこの人たちを支援して行かねばなりません。しかしながら、自閉症特有の症状である認知力の弱さ、コミュニケーションの欠如、反復パターンの行動など、社会的に自立をするための支援活動を阻む要素が多くあり、支援以前の課題軽減が大きな障壁となっています。

100人の自閉症がいれば、100の自閉症診断がくだると言われる程、症状や状態は千差万別です。私たちはこの障壁に“個別の療育”を創造することを念頭に置き、チーム力で日々取り組んでいます。行き詰まった時、折れそうになった時、少し応援してください。また前へ進んで行きます。

施設長 松原 正子

成長の軌跡 PART②

3回シリーズで『成長の軌跡』を特集していますが、今回は開所当初から実施しているウォーキングやジョギングについての特集です。ウインドヒルの豊かな自然を生かしたウォーキングコースは急勾配の上り坂あり、土の斜面の下り坂ありで歩きごたえ十分です。開所当時はなかなか足が進まない方もいましたが、今では皆さん汗をいっぱいかきながら力強く歩いています。また体力自慢の方は敷地内のジョギングコースを走り、より一層の体力作りに取り組んでいます。



●ウインドヒルで飼っているモモとメリーと一緒にウォーキングをしています。



●土の下り坂です。土ならではの地面の凹凸を足の裏全体で感じています。自分で一歩一歩足を踏み出す位置を確認しながらしっかりとした足取りで歩いています。



●ジョギングの様子です。汗だくになりながら一生懸命体力作りに励んでいます。



●1人で歩くのが苦手な方はタオルを利用者同士で持って歩いています。



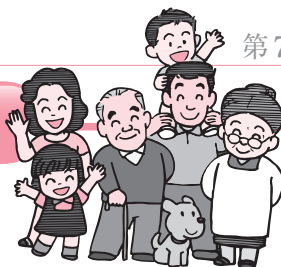
●雨天時はストレッチや軽めの運動を行っています。

【ウォーキング・ジョギングについて】

開所当時より利用者の体力作り、健康の増進、メタボ予防などを目的に毎日、夕方の1時間程度行っています。利用者それぞれの年齢や体力に応じて4つのグループに別れ、自分にあった適度な運動を心がけています。また集団で歩くことが苦手な方は『集団で歩く』ことを目標に取り組んでいる方もいます。

感謝の
気持ちを
こめて

「地域のつどい」ができるまで



◆9月上旬 メッセージカードの制作



●今年のお土産のエコバックに貼っていたメッセージカードの製作の様子です。1枚1枚、感謝の気持ちを込めながら丁寧に書いています。

◆8月上旬 お土産作り



●毎年、お盆のころからお土産作りがスタートします。今年は竹細工とエコバック作りです。ウインドヒルでは蝉の鳴き声がにぎやかな季節です。

◆9月中旬 トーンチャイムの練習開始



●本番の発表に向けて歌やトーンチャイムの練習の様子です。音楽リズムの時間や夕食後の余暇の時間を使い練習しています。



つどいに向けて
準備を
進めています

◆9月下旬 チラシ発送の準備・作品作り



●チラシの袋入れも自分たちで行っています。また水上さんと一緒につどいに向けた作品作りに取り掛かります。

◆前日 会場設営



完成!!
テント村



●前日はボランティアさん、保護者の方も来られて利用者と一緒に会場の設営をしました。

◆10月中旬 ご近所さん方に チラシ配り



●1週間位前から、毎日ご近所さん方にチラシ配りに行きました。たくさんの人たちに来てもらいたく頑張りました。

第6回 地域とのつどい

10月30日(日)、第6回地域とのつどいが開催されました。当日はお昼から雨が降り出しあいにくの天気となりましたが、ご近所の皆さんなどたくさんの方々にお越しいただきました。今年は6回目を迎え益々盛大に開催することが出来ました。



●この日のために何か月前から練習してきた「ヤングマン」のダンスの発表です。一生懸命踊ることが出来ました。



●今年も「ニャー倶楽部」さまをはじめ、たくさんのボランティアの皆さまに支えられ、地域とのつどいを開催することが出来ました。

ご協賛頂きました皆さま、ボランティアの皆さま、ほんとうにありがとうございました。また、今年は、ウインドヒルとして飴玉すくいコーナーを設置し、皆さんに楽しんでもらいました。



今年は利用者も
バザーを
手伝いました。

池下先生の 音楽リズム発表



トーンチャイム演奏♪



利用者全員で「ヤングマン」のダンス

三木先生と一緒に歌おう♪ With 水上さん



会場全員で『会いたかった』体操!!





坂口さんの『手作りおもちゃ』コーナー

手作りの木のおもちゃのぬくもりにふれました。



シャボン玉コーナー

子どもに大人気でした。

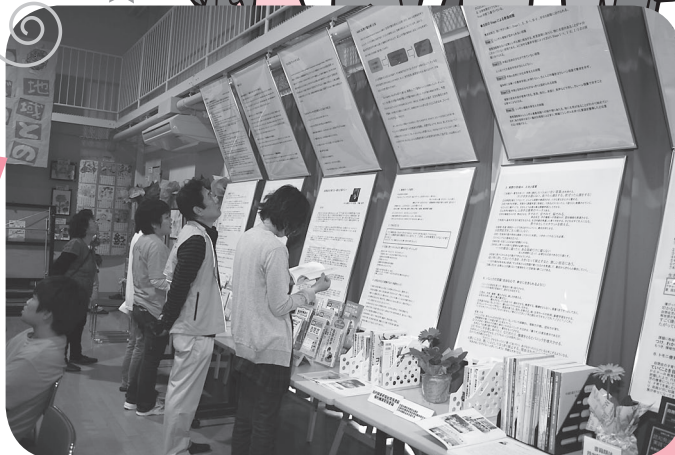


京都から参加の”てらきち”さんコーナー

地域の方々にもお楽しみ頂きました。



今村さんの『似顔絵』コーナー
デフォルメされた似顔絵が大好評でした。



●今年、初めての試みとして、地域の皆さまにも自閉症を広く理解して頂くために、地域交流棟の一角に『ウインブース』を設置しました。

自閉症の障害特性、療育方法などのパネルや書籍を設置し、一部書籍は販売も致しました。

自閉症に特化した施設として今後も啓発活動にも力を入れていきたいと思っています。



●「会いたかった」体操では利用者だけではなく、お越し頂いた皆さま全員で盛り上がる事が出来ました。



因藤さんの
サクソ演奏
素敵な演奏を
ありがとうございました。

第6回 地域とのつどい

研修の報告

ウインドヒルでは利用者の生活の質の向上のため、支援員は積極的にいろいろな研修に参加しています。自閉症の障害特性から、支援者には専門的な知識や支援技術が求められています。

●平成23年7月21日～22日
第53回 中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会 高知県

高知県で竜馬の志しと入所施設の現状を勉強してきました。この研修で学んだことを生かしてよりよい支援につなげていきたいと思っています。
支援員 村川文生

●平成23年8月25日～27日
第19回 自閉症セミナー「認知発達治療の理論と実践」 東京都

認知発達治療において専門的な知識を得ることができました。この講習で知り得た知識を無駄にすることなく職員間で共有し、職場で活かしたいです。
支援員 空本紋子

●平成23年9月7日～9日
第49回 全国知的障害者福祉関係職員研究大会 栃木大会

全国大会であり福祉に関わる職員の多さを改めて実感する研修大会でした。講演や各施設の取組を聞く機会に恵まれ、今後の福祉に求められるグローバルな対応や様々な取組に心が動き、業務に一層励み研鑽を積んでいきたいと思料しました。このような機会をいただき心より感謝しております。
支援員 松村真美

●平成23年11月17日～18日
第25回 全国自閉症者施設協議会 岐阜大会

全国大会に参加をさせていただいて、自閉症者とそのを取り巻く状況の最前線を知ることができ、また、そこに集う、全国の自閉症者への支援に携わる方たちとのコミュニケーションを図ることができたことも良い経験となりました。日々、利用者支援にあたる中での課題や悩みもウインドヒルの中だけではないということ。全国で、同じように毎日、支援に利用者に向き合っている仲間がいるということを感じました。

生活主任 鈴木克幸

●平成23年11月17日～18日
平成23年度 香川県知的障害者福祉協会県外施設視察研修 奈良県

奈良県にあります社会福祉法人青葉仁会の視察に行ってきました。入所施設やケアホームなど多角的に運営している社会福祉法人でした。ウインドヒルが新体系に移行するにあたり、事務的な手続きやケアホームの運営などいろいろなことを教えて頂きました。

支援員 東川貴洋

その他、下記の研修にも参加しました。
『平成23年度 自立支援法に基づく障害者支援施設研修会』
『平成23年度 強度行動障害支援セミナー』
『平成23年度 相談支援従事者初任者研修』
『平成23年度 サービス管理責任者研修』
『平成23年度 福祉の職場等研修担当者養成研修会』

高松市立保育所の障害児保育担当者55名の保育士さんが自閉症について理解を深めるためにウインドヒルにて研修をされました。

高松市健康福祉部こども園運営課より依頼があり、今年で3年目の研修です。保育現場において、自閉症の障害特性を理解し、将来、どんな障害があっても、人として、社会に喜んで受け入れられる人に成長をさせてあげたい。そのためには、幼児期に押えていなければいけないポイントは何であるか。また、悩み多い保護者さんとの関わり方、メンタル面のサポート等について研修しました。高松市健康福祉部こども園運営課より頂いた御礼文を掲載いたします。

先日は御多忙中にもかかわらず、3日間にわたり大勢の職員に施設見学や学びの場を提供していただき、誠にありがとうございました。

施設長様を始め諸先生方には、自閉症に対する理解を深め、障がい児保育をすすめていくうえで子どもや保護者に対する支援のあり方はもとより、人が人としての尊厳を守られ、人の中で生きていくための人間らしい豊かな支援等について、大変多くのことを学ばせていただきました。

これからも一人一人の子どもや保護者の立場にたち、個別のかかわりを大切にしたい保育への取組みや、問題提起をしていただいた臨床的アプローチについても、さらに自己研鑽を積み重ね専門性を高めていきたいと存じます。

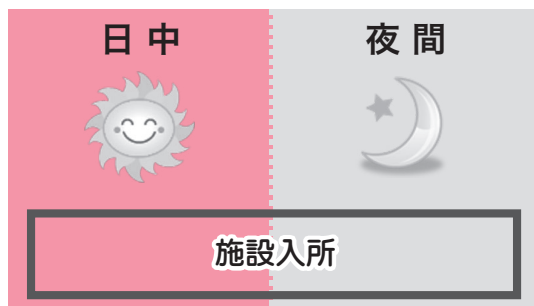
今後とも連携をとりながら、御指導、御協力のほどよろしくお願いいたします。



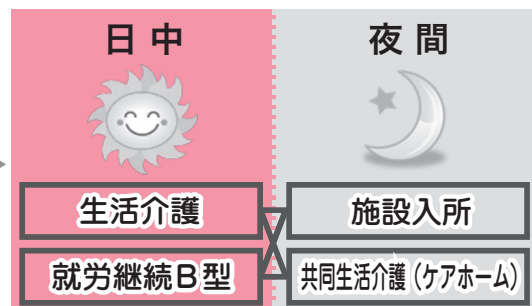
新体系移行に向けたウインドヒルの取り組み

平成24年度から新体系に移行するにあたり障害福祉サービスの考え方が大きく変わります。現在は入所型の施設を利用するということで障害福祉サービスの利用が完結しています。新体系での障害福祉サービスの考え方では利用者の「日中活動の場」→「日中の福祉サービス」と「夜間の生活の場」→「夜間の福祉サービス」を明確に分けます。

現在のサービス



H24年4月からのサービス



以下のそれぞれのサービスについての説明は厚生労働省のホームページからの抜粋です。

●生活介護

常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

●就労継続B型

一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

●施設入所

施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。

●共同生活介護(ケアホーム)

夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。

※在宅者向けの短期入所事業(ショートステイ)は現在と変わりありません。

職員コーナー

今回、会報にコメントを掲載させていただくことになり、施設の利用者と過ごした時間をゆつくりと振り返る良い機会となりました。私が、ウインドヒルに来て間もない頃の利用者は、様々な面において不安定であり、関わりにくさというものが多くありました。

同様に支援する側の職員も多くの失敗や不安を抱えながら、それでも利用者の成長を疑わず一緒に過ごしてきました。

その中で生まれてきた自信や一緒に時を過ごしたという共有できる思い出、また、最重度といわれる方でも仕事をするとこのことを通して大人として成長していく姿を側で直に見せ頂いて、最近になってようやく自分たちの取り組んできたことは間違っていないかったのだという思いがあります。

そんな中でいま、支援する側として大切に考えていることが①利用者が大人として責任ある行動を取れるようになること。②社会の一員としての役割を持てることです。

生活のスキルを上げるばかりが支援ではない。それと同じくらいに、それ以上に、社会に迷惑をかけない大人であること。どんな方法でもその人なりの形で社会に貢献できることを見つけていく。ということなのです。

今後、利用者の新たな課題と一緒に取り組んでいく際に、今までの利用者として過ごした経験が私自身の自信になっていくと思います。みんな、歩くスピードは違えど確実に前に進めている。私たちは、その歩みをせかさず、止めず、寄り添うことで、またここから先の成長を楽しみにしながら一緒に過ごしていきたいと思っています。

生活主任 鈴木克幸

社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページをリニューアルしました!!

当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので是非ご覧ください。スマートフォンからは左のQRコードから読み取れます。

アドレス:
<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人
ポム・ド・パン

ウインドヒル『地域交流棟』を利用しませんか

100名程度の研修会などに使用できます。スポーツにも…卓球台を備えています。ダンス、舞踏や音楽練習などに使用できます。利用料は無料。エアコン利用の時のみ、光熱費として1時間につき500円必要となります。

問合せ先: 知的障害者更生施設ウインドヒル TEL:087-888-4277 050-3734-6707



社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員 (敬称略・順不同)

後援会コーナー

◆個人会員

三好美千代 藤川横井 奈々敏子 長尾乃村 博子ゆみ 樽谷武岡 学純子 福田黒原 宣央健太 安倍松本 晶子サ一 吉本竹尾 洋子香之 村上白井 真喜子 額田吉坂 良子夕文 白井山内 麻美とみ 鹿庭寒川 慶子妙子
遠藤松村 能成美 横井東川 敏子洋 乃村空本 ゆみ紋子 武岡中山 黒原西原 健太穂 松本西原 美能之 山内白井 明徳子 吉坂村川 子文幸市 山内松原 とみ俊介 庭寒川 子妙子
鈴木三好 美克幸 鈴水三好 裕子智子 幸太朗 和田和 純紀昭 黒原西原 穂穂 松本西原 能之 白井山内 徳子龍 吉坂村川 夕文幸市 山内松原 俊介廣 庭寒川 子妙子
前田三好 祥二兄 東川三好 智子里美 幸仁雅 村中ま 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
堤三木 洋 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
土居悦子 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
坂口敏子 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
横嶋正子 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
黒嶋康弘 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
岡小西 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
後藤加代子 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
武原崇香 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
西原扶行 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
金川大介 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
清水芳子 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
西原武夫 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
和泉久美子 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
筒井育子 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
田中トシ子 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子
竹田俊夫 近藤三好 里美勝 吉村三好 湯浅美 雅智子 田中昌 富田富 西原涼子 美平 山内横井 龍兵一 吉坂村川 文市雄 和原三 俊介廣 庭寒川 子妙子

◆団体会員

(株)一陽バック アイ・プロジェクト (株)たまも ツツミ医院 (株)合田工務店
(株)生コン輸送 田中電気保安管理事務所 (株)遠藤米穀店
(有)高島産業 自由民主党香川県第一選挙区支部 (株)百十四銀行空港口支店
(有)久間薬局 (有)香南鉄筋 (株)トミタ 四国旅客鉄道株式会社
(有)雄興業 (株)ミネック (株)ムーミー (医) いずみ内科医院

平成23年4月～平成23年11月末日現在
以上の方々にご入会頂きました。
本当にありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、ポム・ド・パンが運営する知的障害者更生施設「ウインドヒル」をサポートするために作られました。

利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、なおかつ今後長期にわたり、法人の運営、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、多くの方々のご支援が是非とも必要なのです。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

年会費

個人会員 一口 3,000 円
団体会員 一口 10,000 円

ご入金方法

郵便振替口座 (料金加入者負担)

口座番号 01690-3-74305

口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

保護者会コーナー

「地域とのつどいを終えて」

ウチの息子はもう何週間も前から「地域のつどい」を楽しみにして、当日の天気をとても気にしてしました。前日、明日は雨の予報に「雨はどれくらい降るんやろうか」と気をもんでいる様子でした。

当日の朝、大雨でないことにホッと、ウインドヒルに向いました。親達ばかり空の中バザー用品を運んだり、売り場を決めたりと忙しくしているうちに開会の連絡、それでも早くからお客さんが来て下さり、会場に入れません。今年はバザーの品々もすべてが完売状態、交替しながらチラチラッと交流棟をのぞいて楽しそうなお子さんのピースサインを見て又あわただしく売店に戻りました。

屋過ぎながら雨が降り出しとても残念でしたがなんとか終了。

多くの方々から暖かい協賛を頂きウインドヒルが地域の方々を受け入れられていること何よりもうれしく思いました。又、バザーに参加して下さったニヤール倶楽部(食バザー)、白鳥園、あじさい、高知アイス、NPO法人みんとに感謝です。「てらぎちさん、今村さん(イメーजीイラスト)、因藤さん、手作りの木のおもちゃ屋さん」がありがとうございます。そしていつもご指導頂いている三木先生、水上さん、池下先生本当にありがとうございます。

当たり前の事ながら、年々年を重ね、いつまで行事に参加してやれるかと思いつつも、出来るだけ長生きをして子と共に思い出を積み重ねていきたいと思っています。

施設長はじめ職員、支援員の皆さんありがとうございます。これから

D棟三谷良平 母 三谷 文

編集後記

今年も盛大に『第6回地域とのつどい』を開催することが出来ました。皆さまのご協力のおかげで参加者は年々増え続けています。今年は雨だったのにもかかわらず、式典が行われた地域交流棟に入りきれないほどたくさんの人たちにお越しいただきました。式典をご覧いたたけなかった方、申し訳ございませんでした。

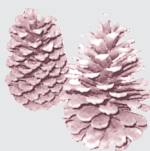
『第6回地域とのつどい』を通してウインドヒルは地域の方々、ボランティアの方々、関係者の方々、保護者の方々など、ほんといっぱいの人たちの温かい想いに支えられた、幸せな施設だと感じました。ご協力いただきました皆さま、ほんとうにありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



メリー♀ (年齢非公認)
2006年12月にウインドヒルにきました。



モモ♀
2006年1月生まれ。



「ポム・ド・パン」とはフランス語で松ぼっくりという意味です。「ウインドヒル」の建つ丘には、時折、松ぼっくりが転がっています。松ぼっくりは、松の木の生命である種子が住んでいるお家です。ここで種子が大切に育まれ、また、次の命を生み出していきます。一年中緑の葉をつけ、砂地でも荒地でもしっかりと根をはり、大きく枝を広げている松。その生命をしっかりと包み込んでいる松ぼっくり。「社会福祉法人ポム・ド・パン」も強く、たくましく、大きく、そして、小さな一つひとつの生命を育む暖かな場所なのです。